# 令和７年度　井之頭小学校　授業改善推進プラン

１学期の学力調査や意識調査、及び子供たちの学習の様子や実態を基に、２学期以降の指導を改善していくための取組目標や手立てを考えました。今後も、子供たちが主体的・協働的・探究的に学習に取り組めるよう、教育活動を進めてまいります。

## 学校全体で共通して取り組む内容

- 「問い掛け」を大切にした授業づくり
- 目的意識をもたせる工夫
- 考えを文章に表現する機会の設定
- 自己決定・自己調整する機会の設定
- 学びを他の場面や教科に生かす機会の設定
- 自分の考えをもち、対話を通して学び合う場面の設定
- 学習者用コンピュータの活用

## 井之頭小の児童の主な実態

〇学習課題の解決に向けて、目的意識をもって、意欲的に学習に取り組む児童が多い。
〇学習者用コンピュータを多く活用し、友達と互いの考えを交流している。
〇△話し合う活動には意欲的だが、分かったことや自分の考えを、積極的に表現することに苦手意識のある児童が多い。
△内容を深く理解しながら学ぶ経験を重ねていけるような支援が必要である。
△話し合いの中で自分の考えを深め、他の意見から学んだりする経験をもっと増やしていく必要がある。

## ２学期以降の学年の取組目標

こんなことに取り組みます！

### １年

児童が安心して友達と考えを伝え合うことができるように、ペアや小グループで話し合う場を意図的に設定します。

### ２年

読書活動をより充実させ、言葉に触れる機会を増やします。
既習事項の想起するきっかけを与え、学びを新たな学習に生かす機会を多く設定します。

### ３年

相手意識をもって言葉を使うことを指導します。意味が分からない言葉については、辞書やインターネット等を活用して調べることができるようにします。

### ４年

対話の視点を示し、目的をもって話し合うことができるようにします。
学習のまとめ方など、様々な方法を示し、選択肢から自己決定できるようにします。

### ５年

主体的に対話することができるように、目的や視点を明確化します。
単元のゴールを共有し、自分の課題や解決方法などを明確にすることによって、目的意識をもって活動に取り組めるようにします。

### ６年

対話のスキルを学び、段階的に取り入れてながら、いろいろな場面で生かしていきます。
課題設定の際に見通しをもって計画が立てられるよう支援し、学習過程の途中でも進捗状況や達成度を振り返って計画を見直す機会をつくります。